

# 成長・貢献・感謝

羽地中学校  
学校だより154号  
R1. 12. 20



# 平和を創る

一組 U・Rさん

私が平和学習で学んだことは、戦争は人間が人間でなくなるといことです。戦争が起きたのは、他国を侵略する日本に対してアメリカは忠告をしたが、日本はその忠告を聞かずに戦争が起こったことが分かりました。戦争はとても残酷で、生きたくても生きられない、本当に苦しい思いをして、地獄を見てそれでも生き抜いた人達がいたと考えると、とても苦しくなります。戦争を体験した人の話によると、壕にいた人が多く窮屈だったため、外に右足を出している人も太ももを破片でやられたそうです。とても激しい戦争だと分かります。今、私達はとても恵まれています。食べたいものを食べられて、学校に行けて自分ができることを、とても平和な暮らしができています。なので、願う平和ではなく、創る平和にしたいと思いました。

私の祖父は戦争の終わった年に生まれたので、祖父から戦争の話聞く機会はありませんでした。今回の平和学習で、私達と同じ年の人達から75才の人達まで、動ける人は全員動員され戦争にかり出された事実がわかり、衝撃を受けました。未来ある子ども達や歩くことさえ辛い年寄りの方でも犠牲にして、他国と争う必要はなかったと思います。



沖縄平和祈念資料館前

「戦争は人が人でなくなる」沖縄県民の4人に1人が亡くなってしまった沖縄戦。集団自決が失敗に終わり、助かった人も家族を失い目の前で人が死んでいくのが当たり前になった現実が悲惨だと思いました。

私達は、大きな争いがなく、幸せに生きています。「平和の最大の敵は無関心、戦争の最大の友も無関心」という言葉は、真実だと思います。相手の国がどうなってもいいという無関心が戦争を引き起こす。相手のことを思い、一緒に幸せになる事を考えれば、大きな戦争にならないかと思えます。今回は、悪天候の中、いろいろなることを伝えていただき、ありがとうございました。一組 A・Iさん

# 一緒に幸せになる

三組 K・Jさん

M・Nさんへ  
お忙しい中、講話をしてくださり、ありがとうございます。摩文仁での平和学習の前に講話をしてもらったことによって、より理解が深まりました。祈念公園に韓国の塔があることを初めて知りました。毎日、24時間を大切に生きていきたいと思えます。  
H・Rさんへ  
バスガイド、お疲れ様でした。比嘉さんのガイドのおかげで、バスの中でも沖縄で起こったいろいろな出来事を理解できて良かったです。敵国だった沖縄の平和の礎だけが、敵国だった人達の名前が刻まれていることが分かりました。平和学習では、それを確かめることができました。



平和ボランティアガイドの皆さん

一組 F・Iさん  
僕は平和祈念公園で戦争の残酷さを知りました。初めて6年生の時に修学旅行で平和について学びました。戦争では、沢山の人の命がなくなり、まわり一面が死体で埋まっていたそうです。  
沖縄は今でも基地がたくさんあり日本の約70%を占めているそうです。基地が近くにあるということは危険と隣り合わせにあるということです。  
戦争は二度と起こしてはいけません。これ以上、たくさん命を失ってはいけません。  
今日、改めて戦争の怖さや残酷さが理解できました。これから、僕たちで、自分たちが生活する場所、命を守っていききたいです。平和な世界が続くことを願っています。

# 障がいがあっても輝ける

私は、おじの姿を見て、私にも可能性はあると信じ、いろいろなことに挑戦していきます。私はおじから自信とパワーをもらいました。障がいを抱えている私のおじのような人達はまだまだ、たくさんいます。その人達が何もできないと思ってしまうのは、間違いです。どのような障がいをもっていても、どのような体でも、人は皆、輝けると信じています。障がいがあっても、みんなは輝ける。私は、そう信じています。



全国中学校人権作文コンテスト  
沖縄県大会 奨励賞 地区優秀賞  
三年 A・Aさん